



ユネスコエコパークに登録された、静岡県井川と川根本町の魅力を伝える、地域でつくる新聞

井川と川根をつなぐ いかわ村新聞 No.21

祝！南アルプス ユネスコエコパーク 登録10周年！



いかわ村新聞 第21号 2025年2月20日発行
発行 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会
〒440-0802 静岡市葵区追手町5の1 静岡市環境共生課内
Tel.054(261)3151

【委員】静岡森林管理署 天竜森林管理署 静岡県 静岡市 川根本町、株持種東海フレスト、中部電力(株)静岡水力センター、しずくシャトル(株)、大井町 大井町タクト(株)、十山 保、川根本町森林レクリエーション推進協議会、井川山岳会、一般財団法人南アルプスみらい財団
【協力】井川観光協会、川根本町まつくり観光協会、南アルプス井川エコツーリズム推進協議会

【会の紹介】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会は、南アルプス周辺の地域の自然環境の保全と文化の継承を図り、その持続可能な利用を推進することを目的とした協議会です。その新聞では、川根本町の情報を「いかわ」と表記しています。

南アルプスユネスコエコパーク登録10周年記念シンポジウム ～南アルプスの人々の暮らしと自然を次の世代に～

を開催します

10:00 ▼ 12:00	南アルプスを未来につなぐ会シンポジウム 地域の魅力を生かす未来の取組を語る ～南アルプスユネスコエコパークの次の10年に向けて～ 【登壇者】 松田 裕之 古川 理沙 牧 大介 山極 寿一(コーディネーター)
12:30 ▼ 14:00	南アルプス写真・動画コンクール 表彰式・記念講演会 実は登れる南アルプス ～お手軽登山とおすすめ撮影スポット～ 【審査委員長】 西田 省三
14:30 ▼ 17:20	南アルプス学会シンポジウムI 「次世代に残したい人々の暮らし」 【登壇者】 張 曼青 上原 佑貴 外立 ますみ 小川 滋之(コーディネーター)
09:00 ▼ 11:35	南アルプス学会シンポジウムII 「次世代に残したい自然」 【登壇者】 東城 幸治 鶴飼 一博 四方 圭一郎 岸本 年郎(コーディネーター)
11:40 ▼ 12:30	南アルプス学会研究助成者報告会(ポスター発表)
13:00 ▼ 18:20	国際シンポジウム 次世代に残したいユネスコエコパーク 【登壇者】 ブライス マーティン ママードウァ アイダ 田中 俊徳 河野 円樹 石田 智 佐藤 洋一郎(コーディネーター)

詳細は県HPをご覧ください

住所: 静岡市葵区井川3055-1 電話番号: 054-260-2761

南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会の 公式Instagramをフォローしよう

活動内容やイベント情報など、
南アルプス全般の情報を発信中です。ぜひフォローをお願いします。



11月14日(木)に光の森学園(旧本川根小学校・中学校)の1・2・3年生と井川小中学校の1・2・3年生の交流学習が行われた。

南アルプスの自然を感じよう! 光の森学園 井川小中学校 交流学習



今回は井川ダムから井川小中学校までのハイキングと、自然のものを使ったおもちゃ遊びを行った。
ハイキングでは、廃線小路を歩いた。廃線小路は、もともとは貨物専用線だったが、廃線になった現在も線路設備がそのままになっており、ダム湖や周辺の自然を感じることが出来る観光スポットになっている。子どもたちは、友達と楽しくおしゃべりしながら秋の自然を満喫することができた。



初めて廃線小路を歩く子が多く、線路の上を歩くことや、トンネルの信号が光ったり、その中を歩いたりすることがとても楽しかったようだった。
次に、井川夢の吊橋を渡った。ゆらゆら揺れる橋にドキドキしながらも橋上からの絶景に感動していた。
その後、井川大仏へ向かった。急な階段が多く大変だったようだが、登り切った子どもたちは達成感を感じていた。
学習の後半は、井川小中学校に戻り、講師の山田辰美先生による特別授業が始まった。どんぐりが様々な方向に転がる様子や、様々な葉をはさみで切って、いるいるな動物が出来上がる様子を見せてくれた。
最後に、リス、カケス、ネズミ、タヌキの4チームに分かれて、どんぐりを使ったゲームをした。

動物が実際にやるようにどんぐりを隠し、他のチームがそのどんぐりを探するというゲームだった。子どもたちは一生懸命隠したり、他のチームのどんぐりを探したりしていた。子どもたちからは、チームで協力して活動することができて楽しかったという感想がたくさん出た。
一日の活動を通して、オクシズの自然の豊かさを学んだり、友達との仲を深めたりすることができ、有意義な交流学習となった。

